

Weekly Report



ロータリー：
変化をもたらす

2017～2018年度
国際ロータリーのテーマ
ロータリー：変化をもたらす
(ROTARY: MAKING A
DIFFERENCE)

2017～2018年度
名古屋瑞穂ロータリー
クラブ会長のテーマ
ロータリーの品格を高めよう!

創立：1980年(昭和55年)1月10日
会長：稲葉 徹
幹事：大嶽 達郎
クラブ広報委員長：鈴木 健司
例会日：毎週木曜日 PM12:30～
会場：ヒルトン名古屋

事務局：460-0008
名古屋市中区栄1丁目3-3 AMMNATビル7F
TEL：052-211-3803
FAX：052-211-2623
MAIL：2760_nagoya@mizuho-rc.jp
URL：http://www.mizuho-rc.jp/

第1805回例会

～基本的教育と識字率向上月間～
クラブテーマ：「熱田の杜・友愛・気品」

2017年10月4日(水) 曇り 第13回

司会：名古屋南RC会場委員長 中野智夫さん
斉唱：「君が代」「奉仕の理想」
ゲスト：第2760地区ガバナー 神野重行さん
地区幹事 加藤定伸さん
名古屋RC 杉浦則雄さん

会長挨拶

名古屋南RC 江口博寿会長

皆様こんにちは。本日は、神野ガバナー、加藤地区幹事をお迎え致しまして、名古屋瑞穂RCと合同例会という形でやらさせていただきます。

今日は中秋の名月ということで、このエリアで月の名所と言いますと、私は岐阜県海津町にあります行基寺を思い出します。行基寺は行基菩薩という人が744年に建てましたが、その後一度焼失し、1702年に美濃高須藩の松平氏が菩提寺として大規模な改修工事をし再建しました。お城のような建築で、養老山地の高台にあり木曾山川から濃尾平野を見下ろすという、とても風光明媚なところです。行基寺を再建した美濃高須藩というのは、尾張徳川家の御連枝(尾張徳川家の家計が途絶えた時にお世継ぎを出す)の役割を担った藩であり、石高としては3万石ですが大名に値する地位を与えられている藩でした。尾張徳川家の17代のお殿様のうち、4代が高須藩から出ています。高須藩から尾張徳川家の13代藩主として徳川慶勝を迎えられます。東京の四谷の高須藩の屋敷で暮らしていた慶勝ですが、二人の家臣と、一人の爺を連れて尾張藩にやってきます。二人の家臣の内の1人が長谷川惣蔵さんという方で、今日お見えになっている長谷川努先生のご先祖様です。

長谷川惣蔵さんは、風流槍術の免許皆伝という槍の名手でした。しかし武道だけではなく、幕末の難しい時代の中、朝廷と幕府間の終戦にあたり、文学を講義される、兵制改革も行ったという、八面六臂の活躍をされた方です。海津市の瑞応院には、長谷川惣蔵さんの師である井ノ浦一郎さんという流祖の方の顕彰碑が、長谷川惣蔵さんによって建てられ現存しております。また、その長谷川惣蔵さんの顕彰碑も行基寺に建立されています。行基寺には300人程の門人がおられたようですが、その門人によって建てられたそうです。行基寺の住職さんに聞きますと、顕彰碑の場所を教えてくださいました。

行基寺の拝観時間は、普段は9時～16時までなのですが、今日だけ延長され夜に月見場からお月さんが見られます。拝観料は400円です。昼間入っても眼下に濃尾平野が広がるともいよいよ所なので、ぜひ皆様にお勧めさせていただきます。月見と言えば、臥龍山 行基寺ということで、行基寺にゆかりのある人物や歴史背景と共にご紹介させていただきました。ご清聴ありがとうございました。

出席報告

田中宏出席委員長

会員64名 出席38名 (出席計算人数48名)

出席率 69.1% 9月28日 は補填により 92.9%

ニコボックス

田中宏ニコボックス委員長

・第2760地区神野重行ガバナー、加藤定伸地区幹事をお迎えして合同例会が開催され、神野ガバナーより卓話をいただきました。2RC合同例会前に会

長、幹事懇談会が行われ有益なご指導をいただきました。稲葉 徹さん
・昨日は、関谷さんにお世話になりました。明日の早朝練習、皆様よろしくお願
いします。 鈴木 淑久さん
・昨日は関谷さんに大変お世話になりました。ありがとうございました。

田中 宏さん
・ギックリ腰が治りません 村上 学さん
・公式戦決定ですね。スポーツの秋ベースボールばんざい 鶴田 浩さん
・関谷さん昨日はお世話になりありがとうございました 湯澤 勇生さん

幹事報告

大嶽達郎幹事

- ・明日10月5日(木)は振替により例会変更となります。
- ・次週10月12日(木)WFFの振替により例会変更となります。
- ・次週10月14日(土)にWFFを久屋大通公園にて行います。12時に「テレビ塔の下」に集合してください。
- ・次々週10月19日(木)に11:00から定款・細則変更プロジェクト会議を事務局にて行います。
- ・次々週10月19日(木)に13:40から第4回理事会をヒルトン名古屋4F「梅の間」にて行います。

委員会・同好会報告

ゴルフ例会(第380回)

開催日:9月29日(金)

氏名	グロス	HDCP	ネット
優勝 鈴木伸一さん	89	18.4	70.6
2位 大嶽達郎さん	87	16.0	71.0
3位 田中宏さん	90	18.4	71.6

次回、第381回ゴルフ例会は10月13日(金)、三好カントリー倶楽部にて4RC親睦ゴルフコンペとして開催されます。

講話

本日は、名古屋南RCホストで、名古屋瑞穂RCとの合同例会を作っていました。先程話がありましたように、会長幹事懇談会は和やかで大変、有意義な時間でもございました。それぞれのクラブの状況につきましてすでに両クラブ訪問をしていただいております。宮崎ガバナー補佐からも報告をいただいております。各クラブとも独自のクラブ活動で、特に、このエリアの皆様は地道にロータリー活動、地区に根ざした奉仕活動を積み上げていただいております。「クラブ計画書」にも、本年度の会長方針、自分たちのクラブの方向性、取り組む姿勢がしっかり書かれております。私も拝見いたしました。長い歴史を持つ両クラブの皆様は社会奉仕、青少年奉仕、国際奉仕活動に励んでいただいております。この取り組みに感謝を申し上げる次第でございます。今進めておられますロータリーの奉仕活動について、クラブ戦略委員会を生かして今までの奉仕活動の点検、クラブそのものの点検、そして新しい奉仕活動への検討も進めていただきたいと思います。

本年度国際ロータリー会長イアン・ライズリーのRI会長テーマを要約しますと、ロータリーは「自らの職業の倫理性を高め、それを通して”世界でよいことをしよう”」という理念を変えることはありませんが、その行動は時代とともに変化させてきています。今、この時代だからこそ、我々ロータリーは目的と理念を大切に守りつつ、”世の中でよいことをしよう”という自分たちの奉仕活動を周りの方々に伝播していくことが求められています。それには、まず、私ども

が自ら行動することによって、ロータリー活動の意義と楽しさを感じなくては
いけません。それによって、子どもは自らを変え、そして周りを変えていくこと
ができるでしょう、その力がもたらされるでしょう、という事です。

イアン・ライズリー会長は「世の中で良いことをしよう」という、それを「自分
の努め」と信じる人が集まる団体、地域社会と世界に変化を生み出したいと
いう願いを、ロータリーを通じて実現できる、そういうことを自分でわかった
人が集まった組織。それが、ロータリー。だから、ロータリーは「どんな団体で
すか」というのではなく、「何をしている団体か」と定義されたいと言っており
ます。すなわち、「奉仕という行動を通じて、自分自身も含めて人々の人生に変
化をもたらそう。」これがイアン・ライズリー会長のメッセージでございます。

続いて、イアン・ライズリー会長のテーマに対する私の思いとそれを受け
て、本年度、皆様と一緒にやっていきたい地域に対する思い、そして地区方針
について簡単にお話していきたいと思っております。今年、1月のサンディエゴでの
国際協議会でテーマ講演を聴きました。その時、イアン・ライズリー会長エ
レクトは大変革の時代のRI会長、我々のリーダーにふさわしい人だと思いま
した。その理由は以下の3点からです。

- 【1】ロータリーとして初めて地球環境問題に対しての行動を提案したこと。
- 【2】我々の行動によって周りを変えていこうという考え方をハッキリ打ち出
したこと。
- 【3】ロータリーの未来に向けての課題、問題点を明確に指摘したこと。

第1の地球環境問題についてですが、今までも議論されてきましたが、これ
に対する具体的な取り組みについての提案は、イアン・ライズリー会長が初め
てです。国土の3分の2が森林である我が国は、名古屋瑞穂RCの皆様にも支
援をして頂いておりますが、東日本大震災の被災地では、植樹が必要です。世
界では砂漠化、水資源不足、海面上昇、地球全体での大気汚染等の問題は
認知していますが、イアン・ライズリー会長はこのような危機を、「人間社会
において一番弱い立場にある人々に真っ先に影響をもたらしている。」とい
う事を強く訴えていました。植樹というのは、未来に向けて人類のみならず、地
球上に住む全ての生き物にとって「良いこと」ではないかと思う次第です。各ク
ラブは既に、来年のアースデーに向けての取り組みをされているようです。これ
につきましても御礼申し上げ、是非実現していただきたいと思っております。

2番目ですが、これはロータリーの原点とも言われる職業奉仕。これを再認
識すると考えることもできます。すなわちロータリアンは、自分たちが、自分た
ちの職業、立場を通して世界に「良いことをしよう」と、奉仕活動を示したわけ
です。それ以上に我々の周りの人々に、ロータリーの活動を認識してもらい、
感動してもらい、共感してもらえれば、良いことの幅も奥行きももっと広く深
くなる。これは、私たち自身がロータリーの奉仕活動を通じて、自らの喜びを大
きく感じる事が前提です。

3番目は、今までもずっと言い続けてきたことです。イアン・ライズリー会長
はロータリーの未来を見据えた問題提起として、【1】会員の男女比率【2】平
均年齢を挙げました。これからのロータリーを担っていくメンバーに、それぞ
れの立場で真剣に考えて欲しい。そういったことで私も評価した次第です。

この2つの問題について更にお話しをします。

1つ目の男女比率の問題について。ロータリーはアメリカで生まれ、育った
奉仕団体でありながら、1989年まで男性だけの組織・団体でした。まだ30年
に満たないわけですが、そのような環境で世の中と同じ男女比率、fifty-fifty
というのは、まだ無理ではないかと私は思っています。ただ、これこそ、クラブ
戦略委員会だけでなく、それぞれのクラブでしっかり議論しお決めいただく、
クラブの自由裁量の問題だと思っています。現在、我が地区・愛知の女性の会
員は 4.1% しかおられません。世界の会員の女性比率は2割と聞いています。
日本を見ても、大都市圏で12%台、全国平均で11.1%、それからすると、
愛知の4.1%はちょっと低いかな、ずいぶん低いなと感じます。議論はいろ
いろありますが、今ロータリーは、世の中で良いことをしたいという意欲のあ
る方、そして社会で良い評価を受けておられる方は男女の区別なしに我々の
仲間を受け入れることができる団体になっています。

2つ目の平均年齢について。これは世界で40歳未満の会員が5%を下回る
という、大変難しい課題かと思っております。我が国の少子化がこのようなことまで
影響しているとは思いませんが、それでも特にこれからのロータリーを考える
と真剣に考えなければならない課題だと思っています。日本では90%のクラブ
が毎週屋に例会をしています。また、それも平日に集中して。さらに、高い入
会金や会費もあります。このようなことを含め、クラブの自主性が許されるよ

うになった今、そして、これから思い切って例会の持ち方を見直し、変更する
ことも必要になってくるのではないかと考えています。

我が国に限らず、先進国の数多のボランティア団体が生まれ奉仕活動を行
っています。その中で112年の長い歴史を誇ります我がロータリーは、当初
の基本理念を変えることなく、財源の透明性も高く、今世界で一番高い評価
を得ているボランティア団体になることができました。ただそうは言いつつも、
地区、地域からまだまだ認知していただくところまで行っておりませんし、
活動内容の理解につきましても、「イマイチ」と、言わざるを得ないのが現実で
あります。私はガバナーとして就任いたしまして、愛知県知事、名古屋市長に
就任挨拶をいたしました。それだけではなく、テレビやラジオ、新聞社のマ
スコミのトップの皆様にご挨拶をし、我々の奉仕活動の説明、あるいは、それ
に対する理解をしていただけるように、さらに、マスコミの皆様にも我々の活
動を取材して、世の中にもっと広めていただけるように公共イメージ向上委
員会の皆様と一緒に回らせていただきました。そのいくつかは、新聞紙上や
テレビニュースなどでも取り上げていただきました。5年後10年後の姿を描
いてみて、それに向けてクラブ戦略委員会・未来委員会で具体的方策を検
討・実行していただきたいということが私のお願いするところであります。ま
た、次回の地区大会時には、愛知県知事と地区として防災協定を締結する形
で準備をさせていただいております。

地区方針は、皆様ご存じのように「今日からのロータリーを楽しもう!」であ
ります。地区ビジョン、それは、10年後20年後もこの地区、地区が輝き続け
ていること、そのために各クラブが輝き続けてもらいたい、ということです。この
他にガバナーとしてお願い申し上げている事は、ガバナー補佐チームとして4
回の訪問をお願いいたします。皆様方が迷惑がらずに快くお掛けいただき、ク
ラブの問題点や意見を述べていただければと思います。WFFにつきましては、
皆様には大変ご協力、ご参加を頂いております事を厚く御礼申し上げます。
会員増強は、言われてやるのではなく、自分たちのクラブの奉仕活動をより有
意義にするための問題であります。会員増強委員会だけに任せるのではなく、
クラブ全員が力を合わせて取り組んでもらいたいと思います。ガバナー賞は
会員増強と米山記念奨学事業であります。ロータリーの寄付につきましては、
3年先に返還される地区補助金すなわち自分達の活動資金への拠出、積立
金であります。寄付は、Contribution「貢献」と理解して頂きご協力をお願い
申し上げます。

最後に「マイロータリー」。これにつきましては、すでに登録を進めていま
すが、それは嫌々やってもしょうがない。「なんで入るんだ」ということが理解で
きないといけません。会員一人一人がもっと広いネットワークを持って、情報
を共有して、他の仲間のことを知ると同時に自分のことも知ってもらえるとい
うことです。マイロータリーを活用していただきたいと思っております。

来年6月にカナダのトロントで国際大会が開かれます。ガバナーナイトは6
月24日です。トロントでも皆様とお目にかかりたいと思っております。今日から
のロータリーを、是非、私と一緒に楽しませてもらいたいと思っております。両ク
ラブの益々のご発展と皆様のご健勝を祈念いたしまして、私の卓話とさせてい
たきます。ありがとうございました。



『2RC合同会長・幹事懇談会』

例会前に、神野重行ガバナー・加藤定伸地区幹事をお迎えて
2RC合同会長・幹事懇談会が行われ、有益なご指導を賜りました。

例会のご案内

- 今週 10月12日(木) 振替により例会変更
- 次週の行事 10月14日(土) WFF
場 所： 久屋大通り公園
- 次々週行事 10月19日(木) クラブ討論会